



令和8年度
学校組合立牧之原小学校
学校だより



重点目標 わたしも みんなも 大切にする子 【校長 田中正信】

アノネ 親は子供をみているつもりだけれど

子供はその親をみているんだな

親よりもきれいな よごれない眼でね 【相田みつを】

少し前のことです（去年の秋）

名古屋に住む娘のところへ行くため、高速道路のサービスエリアで休憩をしていました。コンビニエンスストアから3人の親子が出てきて、父親は缶コーヒー、母親と小学校4年生くらいの子は、アメリカンドッグをそれぞれ手に持っていました。

父親は、早々にコーヒーを飲み終わると缶を店先にトンっと置いて、車へ。食べ終わった母親は、早く食べるように子供をせかし、串を投げ捨てて車へ。一人残されて、食べ終わった子供は、自分の串はもちろん、母親が捨てた串、そして父親が置いていった缶を拾い上げて、ゴミ箱へ。

私は、この光景のことを名古屋に着いてから娘に話しました。娘は「親は、自分が捨てたゴミを子供が片付けているのを見てどう思ったのかね。その子は将来、平気でゴミを捨てる大人になってほしくないね。」と。

いい意味でも、悪い意味でも『育てたように子は育つ』『子供は親の背中を見て育つ』『この親にしてこの子あり』などと言った言葉もありますが、この子の場合、まさによごれない眼を持っているからこそ、親とは違う行動ができたのだと思います。

親の捨てたゴミを拾い上げてゴミ箱に捨てた子供はどんな思いだったのでしょうか？ そんな行動をする自分の親を子供はどう思っていたのでしょうか？

この子が大人（親）になった時も「きれいな よごれない眼」をもった大人になってくれることを願うばかりです。

3年生お茶摘み体験!

資源回収へのご協力ありがとうございます!
ございます!

5月15日(金)に学校敷地内にリサイクルコンテナを設置しました。するとその翌日には、保護者の方や地域の方の車が何台も停まり、段ボールや雑紙などをコンテナに詰め込んでいただいている姿を見かけました。

皆様のあたたかなご協力に感謝です。ありがとうございます。コンテナは、5月24日まで設置となりますので、引き続きご協力をお願いします。



アルミ缶も集めていますので、ご協力を!



5月15日(金)3年生が、社会科の学習の一環として、手もみ保存会の横山様のご協力のもと、お茶摘みを行いました。摘んだ茶葉は保存をして、秋に『手揉み体験』をするように計画をしています。そのため、この日



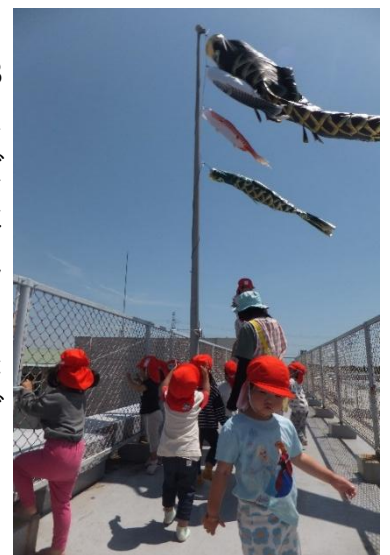
は、多くの皆様にお茶摘みのご協力をいただきました! ありがとうございます!

<小学校に 小さな可愛い お客様来校!>



5月13日(水)、牧之原保育園3歳児クラスの子が、鯉のぼりの見学に来てくれました。校舎3階から鯉のぼりを眺めながら、向かいの保育園舎にいた先生方に手を振って大喜びでした!

下写真左は、1年の教室前を通った際に1年生に歓迎されている様子です。



↑校長室にて、ハイチーズ!



↑帰り際の、姉弟のステキなシーン!